

レストラン&バー香港2015

9月8日～10日の3日間、香港のレストラン・ホテル・バーなどの業界関係者が来場する見本市「レストラン&バー香港2015」に昨年度に引き続き2回目の宮崎県ブースを出展しました。本県からは畜産品・農水産品・調味料・酒類などを取り扱う企業6社が参加し、各社工夫を凝らしての試飲試食を行うなど積極的に商談を持ち掛けていました。

日本の『食』への関心が高まる中、また定期航空便の就航により拡大が予想される東アジアにおける人・者・情報の交流を引き続き支援していきたいと思っております。

また、今年3月には台湾で宮崎フェアの開催をする予定としており、現在出展に向けた準備を進めています。

(総務貿易課 柏木)



宮崎PRレセプション in 台湾高雄



ソラシドエアにとって初めての国際線運航となる宮崎～高雄間のチャーター便就航にあわせて、去る10月19日に台湾の高雄市において県産品のPR・観光誘致等を目的としたレセプションを開催しました。

「神々の宿る地・宮崎と高雄の美味饗宴」と題した催しには、地元より高雄副市長をはじめとする政府関係者やメディア等を招待し、宮崎からは稲用副知事のほか宮崎銀行視察団や商工会議所が参加しました。会場では本県の食材を使った料理や焼酎・ビールなどがふるまわれ、宮崎の食を堪能してもらう機会になりました。

今後とも、本県を訪れる台湾からの旅行者の増加を県産品の販路拡大につなげていけるよう各種の事業に取り組んでいきたいと思っております。(総務貿易課 柏木)

上海事務所レター

「障子を開けてみよ、外は広いぞ！」

この言葉は、トヨタグループの創始者、豊田佐吉氏の言葉です。早くから中国の重要性、日中親善の重要性を理解し、グループ初の海外拠点を当地上海で立ち上げたトヨタグループのその後については、皆様ご存じの通りです。

日本では「上海株式市場暴落」「もうすぐ中国バブルが崩壊する」等々のニュースを目にする機会が多いと思っておりますが、上海生活で実際に感じることはその逆です。上海の安いゴルフ練習場(打ち放題)では日本人が多く練習しているのに対し、少し高い料金の施設になると殆どが中国人という光景を頻りに目にします。

先の言葉の捉え方は人それぞれだと思いますが、「百聞は一見にしかず！」自分で見て、感じて、考えて、行動することが一番大切なことだと教えられた気がいたします。アジアの中心から世界の中心へと変貌を遂げつつある大中国と当県とを結ぶ、ここ宮崎県上海事務所、日中親善を胸に日々業務に励んでいます。(上海事務所 黒木)



外灘(バンド)から臨む超高層ビル群



センターニュース

Vol.52

Miyazaki Local Products and Trade Promotion Center Newspaper

みやざき物産館KONNE 初商



1月2日、みやざき物産館KONNEは初商を迎えました。開店の15分前から恒例となりました橋太鼓「響座」の皆さまの力強い演奏がオープニングを飾りました。

初商の目玉はなんといってもオリジナル福袋ですが、開店の1時間以上前から整理券を求める長い列ができました。昨年よりも多い200個の福袋を用意しましたが、すぐに完売となりました。店内には正月帰省のお土産を買い求める県外からのお客様も多く、いつもの賑わいを見せました。

今年もみやざき物産館KONNEは県産品の魅力を多くの方々に伝えていく情報発信基地としての役割を果たしていきたいと思っております。(営業課 前田)

発行所

公益社団法人
宮崎県物産貿易振興センター
〒880-0804

宮崎市宮田町1番6号

TEL0985-38-9351

FAX0985-38-9354

平成28年1月12日発行

目次

みやざき物産館初商	1
岡山高島屋物産展	1
宮崎空港での物産展	2
みやざき味くらべ	
みやざきの工芸品展	
楠並木KONNE市	2
ふるさと名物商品事業	3
免税店スタート	3
レストラン&バー香港	4
宮崎PRレセプション	4
上海事務所レター	4

岡山高島屋『日向自慢みやざき展』

11月13日～18日までの6日間、岡山高島屋において「第2回日向自慢みやざき展」を開催しました。今回は食品15社、茶屋1社、酒造3社、工芸7社の計26社が出展しました。食品では宮崎牛の使った弁当やラーメン・宮崎地頭鶏の炭火焼き・チキン南蛮・ちりめんなど、工芸品では竹製品・織物・アクセサリなどを販売しました。

物産展の様子は新聞4社や地元テレビ局のニュースに取り上げられましたが、開催時期が約1ヶ月早まったことに加えて、直前に同会場で他の物産展が開催されたことなどから、全体の売上げは百貨店の目標額に届きませんでした。しかしながら、昨年に続いて今年も楽しみにして来場したというお客様があるなど、このみやざき展の開催を通して中国地方の方々に宮崎の県産品の魅力をアピールするとともに、豊かな自然や観光地をPRすることができました。

今後とも、より一層充実したみやざき展の開催となるよう改善し、販路拡大に努めていきたいと考えています。(企画課 松下)



宮崎空港オアシス広場での物産展

当センターでは秋の行楽シーズンで宮崎への旅行客も増える10月に宮崎空港オアシス広場で食品と工芸品の物産展をそれぞれ開催しました。

ひむか市場みやざき味くらべ

10月3日～12日の10日間、「第19回ひむか市場みやざき味くらべ」を開催し、食品17社・酒類2社の出展がありました。

昨年は会期中に2回も台風に見舞われましたが、今年は天候にも恵まれ、売上目標額を35%以上も上回る実績をあげることができました。

空の玄関口である空港は県外客も多く、県産品の魅力を効果的に発信できる会場であるため、今後とも販路拡大に向けた物産展として取り組んでいきたいと思ひます。（企画課 上原）



みやざきの工芸品展2015 ～宮崎の伝統と匠の共演～



9月20日～28日の9日間、「みやざきの工芸品展2015」を開催しました。

今年は『伝統的工芸品』10社と『みやざきの匠』11社が出展し、展示販売を行いました。このうち、7社の皆さんは神楽面の手彫りや人形の絵付けなどの実演を行い、長年受け継がれてきた技術を披露し、来場者を楽しませていました。また、今回はより多くの伝統的工芸品を知ってもらうため、会場で都城大弓・めんぱ・大漁旗などの特別展示を初めて行いました。

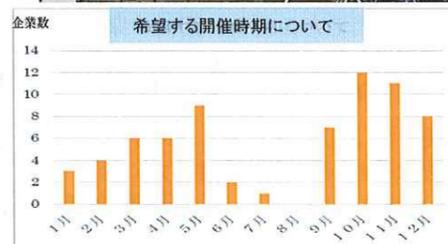
今後とも県と連携しながら、工芸品の振興に取り組んでいきたいと考えています。（企画課 松下）

楠並木KONNE市

県内各地の特産品が勢揃いする「第59回楠並木KONNE市」を11月9日～12日までの4日間、県庁楠並木通りで開催しました。会期を前半と後半に分けた中で、それぞれ19社の出展がありました。（うち6社は全日程出展）

天候にも恵まれる中、海の幸・山の幸を届けるそれぞれのテントには多くのお客様が足を運び、企業の皆さまとのやり取りを楽しんでいる様子が見られました。また、出展企業の皆さまから多数の景品を提供していただいた「お楽しみ抽選会」も大変盛り上がりしましたが、これからも親しまれる催事であり続けるよう企画していきたいと思ひます。

なお、次回のKONNE市については、昨年実施しましたアンケート結果も踏まえて、5月頃の開催を予定しています。（企画課 上原）



ふるさと名物商品PR事業

県産品の知名度アップと消費拡大を図るため、指定された「ふるさと名物商品」を3割引きで販売する事業を7月から実施しています。

この事業では、①新宿みやざき館KONNEなどの店舗販売 ②インターネットなどによる通信販売 ③センターが実施する県外催事での外部販売 の3つの方法により販売を展開しています。

この中の通信販売においては、当センターが毎年作成しているお歳暮カタログ『みやざき冬ギフト』の商品ラインナップを全てふるさと名物商品としました。今回は県外の県人会の皆さまにも配布して販売機会の拡大を図りました。県産品が3割引きで購入できることに加えて、2,000円以上のお買上で送料が無料になるサービスが好評で、特に12月は注文が殺到しました。



また、県外催事も積極的に実施して、関東・関西・福岡などで『宮崎ふるさとフェア』を開催しました。お買い得感満載の商品が期間限定で購入できるとあって、各会場とも多くのお客様を迎えることができました。

ふるさと名物商品に関する販売はいずれも2月末までの予定となっていますので、引き続きこの事業を活用した県産品のPRに取り組んでいきます。（企画課 永峰）



10月 大阪ディアモール



11月 マルイ溝口店

みやざき物産館が免税店になりました。

外国人旅行客のさらなる誘致、需要の取り込みを目指して12月1日からみやざき物産館KONNEが免税店としてスタートを切りました。

ちなみに免税の範囲は、①消耗品(食料・飲料など)は税抜きで5千円を超えるとき ②一般物品(消耗品以外のもの)は税抜きで1万円を超えるときに消費税の支払いが免除されます。

今回の免税店導入にあたっては、パスポートを読み取るシステムの導入やレジの変更、スタッフの研修など様々な準備を進めてきました。

開設式では佐多理事長や県商工観光労働部の永山部長の出席をいただく中、免税店の看板取り付けやのぼり掲示などが行われました。（営業課 前田）

